

第4章 重点的に取り組む事業

教育振興基本計画の後半期では、5つの基本的な方向性に、重点的に取り組む19の重点事業を位置づけています。特に生涯学習分野となる基本的な方向性4、地域の豊かな学びの育成、重点事業12から16について、推進を図ってまいります。

【地域の豊かな学びの育成】

社会の変化に対応した学習機会の提供の充実を図ることにより、生涯にわたって学び、活躍できる環境の整備に取り組めます。これにより、地域コミュニティの維持・活性化や地域課題の解決に寄与する「学び」と「活動」の循環の形成をめざします。

重点12 史跡の保存と活用を推進します

歴史や文化的資源を保存し、活用を推進することは、市に対する郷土愛と、市民としてのアイデンティティを醸成していく上で重要です。そのため、史跡池上曾根遺跡の保存と活用を両立する整備を進めます。また地域の文化財や歴史をインターネット上で公開し、容易に市の文化財に触れることができる環境を整え、学校教育の中でも活用できるシステムづくりを進めます。

重点的に取り組む施策 ・デジタルアーカイブ事業

重点13 文化・芸術の充実を図ります

第3次泉大津市文化芸術振興計画に基づき、これまで培ってきた市の文化芸術資源の保存・活用を図りながらも、時代に対応した文化芸術施策を展開し、より多くの市民が文化芸術を通じて交流するまちづくりをめざします。

ブンカミーティングでは、地域の文化芸術に携わるあらゆる世代をゆるやかにつなぐ対話の場であると同時に、自分たちのやりたいことをどうすればできるのかを学んでいくことで、市民が自分たちで文化芸術活動を運営していくことをめざします。

重点的に取り組む施策 ・ブンカミーティング

重点14 市民のスポーツ活動推進と地域スポーツ団体の活動を支援します

スポーツ施設の指定管理者と連携しながら、スポーツ施設の新たな利用者の確保を目指しスポーツ環境の充実を図ります。さらに、総合型地域スポーツクラブや市スポーツ協会とともに、誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」の機会を提供し、地域や学校における子ども、若者の体力とスポーツ実施率の向上を目指すとともに、地域運動部活動の推進にも取り組みます。

また、地域スポーツ団体の活動の発信、イベントの共催、活動団体への指導者人材バンク登録者情報の提供などを行い、地域課題等の解決に向けて、団体が継続した活動ができるよう支援します。

重点的に取り組む施策 ・地域運動部活動推進事業
・総合型地域スポーツクラブ育成

重点15 シープラを核として「まちぐるみ図書館」を進め、読書環境の向上を図ります

シープラを中心に、まちのさまざまな場所で市民が必要なときに本に触れ、自ら学ぶ機会が得られるよう、学校・地域・家庭などと連携し、市全体を図書館に見立てた「まちぐるみ図書館」を推進します。

加えて、シープラができたことにより、子どもの発達段階に応じた読書活動機会や場所のさらなる提供を推進していくため、子どもの読書活動推進計画の策定を行います。

重点的に取り組む施策 ・まちぐるみ図書館の推進
・子どもの読書活動推進計画の策定

重点16 子どもが安心して生活できる放課後の居場所づくりを充実します

読書活動推進と居場所づくりの観点から、学校・地域と連携し、学校図書室の地域開放事業を拡充します。

放課後子ども教室については、地域とともにある学校づくりを推進する中で、子どもが多様な経験が出来る場を拡充し、子どもの豊かな育ちを確保します。

放課後児童クラブ(仲よし学級)の運営については、ソフト面、ハード面ともに環境の充実をめざします。

重点的に取り組む施策 ・学校図書室開放事業
・放課後子ども教室推進事業
・留守家庭児童会運営事業(仲よし学級)